

# 卓 話

平成 28 年 11 月 15 日

## 『信用金庫と銀行について』

中村賢司会員

### ■信用金庫と銀行の主な相違点

区分	信用金庫	銀行
設立目的	地域の中小企業ならびに国民大衆のための金融の円滑化	不特定多数の企業と一般住民のための金融業務を行う
経営形態 (経営意思決定)	協同組織(会員制度) 一人一票の原則による民主的経営で、利益を目的としない 総代会(総会) 理事会	株式会社組織 経営政策は株式多数保持者の利益を反映、利益先行性が強い 株主総会、取締役会
営業地域 店舗配置	限定された地域を営業地盤とし、店舗配置も集中的で経済効率上から配置転換は困難	広域を営業地盤とし、店舗配置も資金の効率的吸収という観点から捉え、配置転換も可能
取引対象	地域の中小企業(従業員 300 人または資本金 9 億円以下)と国民大衆を取引対象とする	あらゆる企業と一般住民を取引対象とするが大企業や優良企業に傾斜することが多い
業務範囲	預金、融資、為替とこれに関する付随業務	預金、融資、為替とこれに関する付随業務
税制面	協同組織ということで優遇されている	経営組織面での優遇措置はない

定款第 7・8 条(普通出資)

出資 1 口 500 円、出資額は 10,000 円(20 口)以上でなければならない

### ■信用金庫の営業エリア

